

御所南小学校では、学校評価の大切な指標として、保護者・児童・教職員アンケートを実施しています。今回は7月に実施しましたアンケート結果をお知らせします。保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございます。

学校教育目標未来に夢が広がる地域の学校

「共に 感じる つながる 自分から」

「ありがとう」あふれる御所南の子ども ちがうってすてき ちがうっておもしろい～

児童 A=そう思う B=大体そう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない 保護者 教職員 A=出来ている B=大体出来ている C=あまり出来ていない D=出来ていない

	評価内容（児童）	実現度（％）					評価内容（教職員）	実現度（％）			
		A	B	C	D			A	B	C	D
1	学習のめあてが分かり、学習課題を立てて自ら学習を進めることができますか	54.2	39.5	3.8	2.5	1	学習のめあてを明確にし、子どもたちが自ら学習に取り組めるように指導している	59.5	40.5	0.0	0.0
2	自分たちで学習を進めることができますか	57.0	35.2	4.0	3.8	2	子どもが同士が学習を進めることができるよう指導し、机間巡視や個に応じた支援などきめ細やかな対応をしている	47.6	52.4	0.0	0.0
3	相手の意見を聞き、質問したり意見を述べたりすることができますか	45.6	38.8	11.6	4.1	3	相手の考えや意見を聞き、質問したり意見を述べたりしてお互いに認め合いながら話し合うことができるように指導している	54.8	45.2	0.0	0.0
4	目的に合わせて、自分の思いや考えを書きまとめることができますか	59.7	33.2	3.4	3.6	4	学習課程を大切にして、論理的思考力を高めるような授業をすすめている	40.5	54.8	4.8	0.0
5	あきらめず最後まで（分かるまで できるまで）取り組むことができていますか	63.0	30.6	5.1	1.3	5	子どもたちが分からないことをねばり強く解決するような指導や支援を行っている	52.4	42.9	4.8	0.0
6	先生は、提出したノートなどに〇をしたりするなどていねいに見てくれますか	77.6	17.6	3.1	1.7	6	子どもたちのよさや努力を認めるとともに、個に応じた適切な指導や支援を行っている	47.6	47.6	4.8	0.0
7	生活科（１・２年）・総合コミュニティ（かがやき）（３～６年）の学習は今後の生活（生き方など）に役立つと思いますか	63.4	26.2	6.5	4.0	7	生活科や総合コミュニティ（かがやき）の学習で、本物に出会う経験を生かし、子どもが意欲的に学習できるよう指導の工夫を行っている	57.1	40.5	2.4	0.0
8	学校は好きですか	58.3	29.5	7.8	4.4	8	子どもたちが楽しく学校に来ることができるよう工夫している	47.6	52.4	0.0	0.0
9	自分からすすんであいさつをしていますか	51.8	34.1	8.1	5.9	9	学校や地域であいさつをするよう指導するとともに、自分からすすんであいさつをしている	78.6	21.4	0.0	0.0
10	友だちを大切にしていますか	78.5	19.6	1.4	0.5	10	人権に関わる取組などを通して、子どもたちが友だちを大切にする心や態度を育んでいる	64.3	35.7	0.0	0.0
11	学校やクラスのきまりや約束を守っていますか	56.1	38.7	3.1	2.1	11	学校やクラスのきまりや約束を守るよう指導している	57.1	42.9	0.0	0.0
12	自分にはよいところがあると思いますか	55.9	28.2	9.5	6.5	12	自己肯定感をもつなど、自尊感情を育てる指導を行っている	57.1	42.9	0.0	0.0
13	先生は、あなたのことをよく分かっていると思いますか	62.3	28.6	6.6	2.6	13	子どもの様子をよくみたり、話しかけたりして子どもを理解する努力をしている	59.5	40.5	0.0	0.0
14	自分は、家族や先生、友だちに大切にされていると思いますか	71.4	22.2	4.1	2.3	14	子どものことについて連絡を密にするなど、保護者と連携して指導するようにしている	45.2	54.8	0.0	0.0
15	読書は好きですか	66.1	19.1	9.4	5.4	15	子どもたちが読書に興味・関心をもち、読書力が身に付くよう指導の工夫を行っている	33.3	54.8	11.9	0.0
16	体を動かす遊びやスポーツはできていますか	66.3	20.3	7.3	6.0	16	子どもたちが運動に親しみ、進んで体を動かしたり取り組んだりできるよう指導の工夫を行っている	35.7	59.5	4.8	0.0
17	交通ルールを守っていますか	72.8	24.5	0.9	1.8	17	交通のきまりを守るよう指導している	54.8	45.2	0.0	0.0
18	1年生から5年生のみなさんに聞きます。昨年より長くなった放課後の時間、好きなことや興味のあることに夢中になって楽しく過ごすことができていますか。	74.1	18.8	3.8	3.3	18	40分授業のなかで、子どもたちに確かな学力がつくように発問などを工夫している	28.6	64.3	4.8	2.4
19	1・2年生のみなさんに聞きます。これまでに幼稚園や保育園の子どもたちと一緒に活動した時、幼稚園や保育園の子どもたちのことを考えて活動することができましたか。	86.8	9.7	2.4	1.1	19	幼保小連携を意識しながら教育活動に取り組むことができている	35.7	64.3	0.0	0.0
20	4・5年生のみなさんに聞きます。「ハカセの時間」に夢中になって自分のやりたいこと、調べたいことができていますか。	73.4	21.9	2.5	2.2	20	「ハカセの時間」に子どもが好きなことや調べたいことをとことん追求できるように活動の工夫をしている	40.5	54.8	0.0	4.8

	評価内容（保護者）	重要度（％）				実現度（％）			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	子どもがめあてをもち、自ら学習を進めること	88.6	11.1	0.3	0.0	17.9	55.1	24.4	2.7
2	教師が子ども同士の話し合いの仕方の指導や個に応じた支援などをきめ細やかに行うこと	68.2	30.4	1.3	0.2	24.2	62.3	11.2	2.2
3	子どもたちが進んで発表したり、友だちのは話をよく聞いたりしてお互いに認め合いながら学習すること	82.1	17.6	0.3	0.0	31.3	60.4	7.3	0.9
4	子どもが論理的に考え、それを表現する力をつけること	80.2	19.0	0.8	0.0	16.1	56.3	25.3	2.2
5	子どもが分からないことを粘り強く解決すること	83.9	15.3	0.8	0.0	14.7	53.6	28.8	2.8
6	教師が子どものよさや努力を認めること	90.8	9.0	0.2	0.0	42.6	52.7	4.0	0.8
7	本物に出会う経験を通して、子どもが意欲的に学習できるよう指導の工夫を行うこと	80.2	19.0	0.8	0.0	36.9	53.3	8.4	1.4
8	子どもが自分や友だちのことなどについて話すこと	80.7	18.7	0.5	0.2	30.9	57.6	9.8	1.7
9	子どもが早寝早起きをする	87.3	11.2	1.3	0.2	35.3	36.4	25.0	3.3
10	子どもが朝食を食べること	91.5	8.1	0.5	0.0	77.8	18.5	3.2	0.5
11	子どもが体を動かす遊びやスポーツに取り組むこと	88.6	11.1	0.2	0.2	38.8	37.5	21.5	2.2
12	子どもが読書すること	88.0	11.6	0.5	0.0	31.2	33.7	30.1	5.1
13	子どもが交通ルールを守ること	97.2	2.8	0.0	0.0	47.3	47.5	4.9	0.3
14	昨年より長くなった放課後の時間を、好きなことに没頭したりゆとりある時間にしたりすること（1年～5年）	63.4	26.8	9.2	0.6	19.5	49.9	26.1	4.5
15	近隣の幼稚園や保育園と連携して教育活動に取り組むこと（1・2年）	51.0	28.6	16.0	4.4	34.3	46.1	13.2	6.4
16	「ハカセの時間」で子どものやりたいことや調べたいことをとことん追究すること	53.8	35.9	9.0	1.3	26.5	53.5	17.3	2.7

本年度も学校教育目標の実現に向け、教職員全員が目指す子ども像である「かがやき（かんがえぬく子・がんばりとおす子・やさしさあふれる子・きたえつつける子）」を常に意識しながら教育活動を進めています。

【アンケート結果】
全体として、今年度も多くの項目で高い肯定的評価が得られました。特に①「学習のめあてが分かり、自ら学習を進めること」、②「自分たちで学習を進めること」、⑤「あきらめず最後まで取り組むこと」の項目では昨年度に引き続き9割を超える肯定的評価が得られました。本校が大切にしている主体的な学びや粘り強く課題に向き合う姿勢が子どもたちの中に根付きつつあることがうかがえます。今後も、一人一人がより自信をもって学びに向かうことができるよう取組を進めていきます。
また、40分授業により生み出された放課後の時間については、「好きなことや興味のあることに夢中になって過ごしている」と回答した児童の割合が昨年度より向上しました。さらに、「ハカセの時間」についても引き続き高い評価を得ており、子どもたちが自らの興味や関心をもとに主体的に学ぶ機会として定着していることがうかがえます。
一方で、③「相手の意見を聞き、質問したり意見を述べたりすることができる」の項目については、昨年度に引き続き課題が見られます。本校では、自分の考えを表現することとともに、他者の考えを受け止めながら学びを深める力を大切にしており、今後も授業改善や教員研修を通して、対話的な学びの充実を図っていきます。
また、「学校は好きですか」「自分にはよいところがあると思いますか」といった項目では、依然として高い肯定的評価が得られているものの、昨年度と比較するとやや低下が見られました。子どもたち一人一人が認められ、自分らしさを発揮しながら安心して学べる学校づくりを一層進めていく必要があると考えています。
生活面では、「読書」や「自分から進んであいさつをすること」に課題が見られます。今後も図書館との連携や読書活動の充実、委員会活動等を通した主体的な取組を進めるとともに、学校・家庭・地域が連携しながら子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。
今回のアンケート結果からは、子どもたちが友達を大切にし、周りの人から大切にされていると感じながら学校生活を送っていること、また、先生との信頼関係の中で安心して学んでいることがうかがえました。さらに、「ハカセの時間」に夢中になって取り組んでいる子どもが多いことから、本校が目指してきた子ども主体の学びが着実に根付きつつあることを感じています。子どもたちが安心して自分を表現できることや、互いの違いを認め合いながら挑戦できることを大切にしています。温かい人間関係や学校文化を主体的な学びを支える土台としてとらえ、子どもたち一人一人のよさを発揮し、伸ばしていくことができるようにしていきたいと思います。

【学校運営協議会でのご意見】
・自己肯定感を高めてほしい。自己肯定感の低い子は、「できない理由」を集めてしまう傾向がある。取組を継続してできること・できたことを認め、伸ばしてほしい。
・愛された経験・記憶により自分も人も大事にできるようになる。幼保小の接続は、大変意味のあるものだと感じる。
・学校がやりたいと思うことがおおむね達成できている。いい学校になっていると感じる。
・保護者の実現度が見えにくい。分散している。教育課程のつながりなど、何を・何のためにやっているのか、保護者も知る必要がある。